



**日本アフリカ相互理解促進交流プログラム「Japan-Africa Youth Program」
短期派遣プログラム 募集要項**

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）では、日本アフリカ相互理解促進交流プログラム「Japan-Africa Youth Program」（対象国：アフリカ 54 개국）の実施団体として国際交流事業を企画・運営しています。この度、派遣対象のアフリカ 5 개국（エジプト・エチオピア・ルワンダ・セネガル・ザンビア）との国際交流プログラムに参加いただける大学生・大学院生を募集します。

I. 事業概要・内容

(1) 事業目的

本事業は、2025年8月に開催された TICAD9 を契機とし、日本政府（外務省）が推進する青少年交流事業です。アフリカ連合委員会からの委託に基づき、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）がその運営および実施管理を行っております。



本事業は日本とアフリカの次世代を担う若者が交流を通じて、相互理解を促進することを目的としています。日本とアフリカの共創の未来を形作る第一歩として、両地域の未来を担う若者が、地域や国境を越えた絆を築き、長期的な友好関係の基盤を構築することを目指します。




(2) 短期派遣プログラムについて

本プログラムでは、将来の活躍が期待される日本の青少年を、アフリカ 5 개국（エジプト・エチオピア・ルワンダ・セネガル・ザンビア）のいずれか 1 개국へ 12 日間派遣します。参加者は、現地の若者との交流や、現地で活躍する日本企業・団体の訪問を通じて、派遣国の「今」や日本とのつながりを学び、相互理解を深めるとともに、日アフリカ関係への関心と理解を高めることを目的としています。

参加者は帰国後、プログラムで得た学びや気づきを発信・還元し、日本とアフリカをつなぐ「ユースアンバサダー」として継続的に活躍することが期待されます。

(3) 派遣国・期間について

派遣国	詳細	
①  エジプト	プログラム名	アフリカユース短期派遣第一陣（派遣国：エジプト）
	プレプログラム	1 回目：7月15日（水）、2 回目：7月末、3 回目：8月中旬（渡航 2 週間前）
	渡航日程	2026年8月30日（日）～9月11日（金）11泊13日予定
	言語	英語
	対象者・人数	日本国籍の大学生・大学院生 15 名
②  エチオピア	プログラム名	アフリカユース短期派遣第二陣（派遣国：エチオピア）
	プレプログラム	1 回目：7月15日（水）、2 回目：7月末、3 回目：8月末（渡航 2 週間前）
	渡航日程	2026年9月5日（土）～9月16日（水）9泊12日予定

	言語	英語
	対象者・人数	日本国籍の大学生・大学院生 15名
③ ルワンダ 	プログラム名	アフリカコース短期派遣第三陣（派遣国：ルワンダ）
	プレプログラム	1回目：7月15日（水）、2回目：7月末、3回目：8月末（渡航2週間前）
	渡航日程	2026年9月5日（土）～9月16日（水）9泊12日予定
	言語	英語
	対象者・人数	日本国籍の大学生・大学院生 15名
④ セネガル 	プログラム名	アフリカコース短期派遣第四陣（派遣国：セネガル）
	プレプログラム	1回目：7月15日（水）、2回目：7月末、3回目：9月上旬（渡航2週間前）
	渡航日程	2026年9月19日（土）～9月30日（水）9泊12日予定
	言語	英語／仏語
	対象者・人数	日本国籍の大学生・大学院生 15名
⑤ ザンビア 	プログラム名	アフリカコース短期派遣第五陣（派遣国：ザンビア）
	プレプログラム	1回目：7月15日（水）、2回目：7月末、3回目：9月上旬（渡航2週間前）
	渡航日程	2026年9月19日（土）～9月30日（水）9泊12日予定
	言語	英語
	対象者・人数	日本国籍の大学生・大学院生 15名

※現地事情により日程は変更される可能性があります。

（4）プログラム基本日程案

プレプログラム	実施日	所要	プログラム内容
プレプログラム①	7月15日（水）PM	2時間	オリエンテーション、参加者間交流
プレプログラム②	7月末	1.5時間	アフリカ連合委員会による講義（アフリカについて・アジェンダ2063について）
プレプログラム③	渡航2週間前	1.5時間	渡航前説明会、参加者間交流
渡航プログラム	実施日	時間	プログラム内容
1日目	土	終日	国際線出発空港集合、出発前オリエンテーション、日本出発
2日目	日	終日	派遣国到着
3日目	月	午前 午後	表敬訪問：在派遣国日本国大使館 視察：日系企業・団体
4日目	火	午前 午後	講義：JICA事務所 視察：ODAサイト
5日目	水	終日	学校交流①：現地大学
6日目	木	終日	視察：日系企業・団体
7日目	金	終日	学校交流②：現地大学
8日目	土	終日	ホームステイ
9日目	日	午前 午後	ホームステイ ホストファミリー歓送会

10 日目	月	午前 午後	視察：市内名所 ワークショップ：報告会準備（プログラム成果のとりまとめ、チャレンジ・プラン（未来への活動計画）の策定）
11 日目	火	午前 午後	報告会：チャレンジプラン発表、ネットワーキング 派遣国出発
12 日目	水	終日	日本帰国
帰国後	実施日	時間	プログラム内容
	12月上旬	午後	合同成果報告会・懇談会を実施予定（都内会場）

※現地事情によりプログラム内容は変更される可能性があります。

※実施体制として、日本からは JICE 事務局スタッフおよびコーディネーターが同行いたします。

※プレプログラムはすべてオンラインにて実施します。

（5）渡航決定後の参加者の主な取り組み（名称：JAYP 3 Core Works）

以下の 3 つの取り組みは、プログラムの成果として全員が必ず取り組むものです。目的を理解したうえで、主体的に参加してください。

JAYP 3 Core Works	内容
①ワークシート (JAYP My Note) の作成・提出	プレプログラム 1 回目から帰国後 3 か月までの期間、配付するワークシートを使って各課題に取り組み、期限までに JICE ヘデータを提出してください。
	【①事前学習の記録】 対面プログラムに向けて「派遣国について学びたいこと」、「日本について紹介したいこと」についてあなたのアイデアを整理します。
	【②学びの記録】 現地での訪問先や交流を通じて得た学びや気づきを、毎日記録します。
	【③チャレンジプランの策定】 帰国後の活動計画（チャレンジプラン）を策定するためのワークシートです。プログラム中に実施するワークショップでは、現地での経験を踏まえ、参加者同士で意見交換を行います。チームメンバーで考えを共有しながら、プログラムでの学び・成長を共に整理し、帰国後の活動計画を策定します。
【④エッセイ】 帰国後、プログラム全体を通じて得た学びや気づき、今後どのように日本や派遣国との関わりを広げていきたいか、をまとめたショートエッセイを提出していただけます。	
②「日本」を伝える プレゼンテーション・ パフォーマンス	現地での学校交流では、日本への理解を深めてもらうことを目的に、参加型の「日本紹介」セッション（30～45 分程度）を実施いただけます。
③チャレンジプランの策定と ユースアンバサダーとしての活動	日アフリカをつなぐユースアンバサダーとして、チャレンジプランを策定・実行し、活動報告を JICE へ提出してください。

※本プログラムに関連して、参加者が撮影・作成した写真、映像、SNS 投稿、エッセイ等の成果物は、JICE または関係機関（外務省等）の広報活動（例：公式ウェブサイト・SNS・報告書・イベント資料等）に使用させていただく場合がありますこと、予めご了承ください。

II. 応募要件

応募時点で、以下の応募要件を全て満たす者を対象とします。

- ① 派遣時に正規過程に在籍する大学生または大学院生※1。
- ② 35 歳未満の日本国籍を有する方。
- ③ 日本政府が実施または推進する他の海外派遣事業※2 に、これまで参加したことがなく、かつ今後の参加予定もない者。ただしオンラインプログラムのみ参加経験を有する者は可。
- ④ 渡航前のプレプログラム（全 3 回）、派遣日程 12 日間、帰国後成果報告会すべての日程に参加できること。

- ⑤ 本事業の趣旨・目的を理解し、アフリカと日本の相互理解および関係構築に積極的に貢献する意欲を有し、日本の代表としてふさわしい行動ができる者。
- ⑥ 派遣国で対外発信および意思疎通が可能な英語力（目安：TOEIC650 点以上）フランス語力（目安：DELTA A2 以上もしくは仏検準 2 級以上 ※セネガル派遣希望者のみ）、または派遣国の公用語等の言語能力を有すること。※3。
- ⑦ 上記（5）に記載の「参加者の主な取り組み」を遂行できる者。
- ⑧ JICE の安全管理ルール（個人行動・外出禁止、現地法律の厳守等）に従い規律ある団体行動ができ、長時間の移動と多忙なスケジュールに耐える体力と精神力を保有し、心身ともに健康である者。
- ⑨ 感染症予防の観点から、派遣前に黄熱病等必要な予防接種が可能な者。
- ⑩ 帰国後は同窓会の一員となることを承諾し、本プログラムの企画・運営等に協力できる者。
- ⑪ 後述の「参加者の義務・遵守事項」、別紙 1 の「個人情報の取り扱いについて」に同意できる者。
- ⑫ 派遣国の治安状況に伴い、本プログラムが派遣プログラムからオンライン交流プログラムへ変更となる可能性もあるが、どちらのプログラムとなっても参加可能な者。

※1 所属先発行の在籍証明書をもって、在籍を確認します。

※2 海外渡航プログラム例：対日理解促進交流プログラム（JENESYS、カケハシ・プロジェクト、Juntos!!）、海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府青年国際交流事業等

※3 申込書（エントリーフォーム）に語学力を明記し、英語、仏語、または派遣国の公用語・母国語の語学力の証明書の写しをご提出いただきます。語学試験類の受験経験はないが相応の語学力を有する場合（例：帰国子女、ESS クラブや英語弁論大会等の実績を有する者等）は、語学力を証明する成績表の写しまたは推薦状にて代替可とします。

III. プログラム費用について

（1）本事業の負担

以下の費用は本事業により負担されます：

<対面プログラム>

JICE が指定する国際線出発空港（羽田/成田の国際空港を予定）から派遣国までの往復渡航費、現地滞在中・経由地での食費・宿泊費・交通費、旅行傷害保険料、査証申請代金（渡航にあたり査証が必要な国のみ）。

<帰国後プログラム>

合同成果報告会にかかる自宅から JICE が指定する会場までの往復交通費

（2）参加者の負担

- ・ パスポート発行手数料（本プログラムが渡航からオンラインに変更となった場合でも、手数料はご負担いただきます。）
- ・ 自宅から JICE が指定する国際線出発・帰着空港（羽田/成田の国際空港を予定）までの往復交通費
- ・ フライト時間により日本国内の前泊・後泊が必要となる場合の宿泊費、超過荷物輸送料（航空機）
- ・ 現地受入れ先、ホストファミリー等への記念品やお土産代（一人あたり 5,000～10,000 円程度）
- ・ プレゼンテーションに必要な資材およびその他発生した経費
- ・ ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費（電話、クリーニング等）
- ・ インターネット利用料（SIM カード、ポケット Wi-Fi 等）※派遣期間中の連絡手段として、必要最低限のデータ通信量（目安：

5GB程度)はJICEにて手配いたします。それ以上の容量が必要な場合は、ご自身でご用意ください。

- ・ 本事業負担の旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料
- ・ 予防接種に係る接種費
- ・ 参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用(国際線、ホテル費用他)
- ・ 個人的な買い物や追加の飲食代
- ・ 本事業負担に含まれない費用

【海外保険について】

海外旅行保険については、JICEが指定する海外旅行保険に加入いただけます。加入手配はJICEで行い、費用も負担しますので個人での加入は不要です。但し、携行品補償は含まれないため必要な方は別途加入ください。

傷害死亡	2,500万円	傷害治療	1,000万円
後遺障害	2,500万円	疾病治療	1,000万円
救援者費用	300万円	賠償責任保険	5,000万円

IV. 応募方法

(1) 応募締め切り：**2026年6月11日(木) 17:00 ※締切厳守**

(2) 応募方法：以下の申し込みフォームのリンクから必要事項を入力し、送信してください。

申し込みフォーム：<https://jice.form.kintoneapp.com/public/africa-outbound2026>

※フォームへの入力時間が長時間に及ぶと、応募が正常に送信されない場合があります。入力内容をあらかじめ準備したうえで、入力を開始してください。

(3) 応募時提出書類：以下の応募時提出書類については上記サイト内からアップロードしてご提出ください。

- ①. 顔写真
- ②. 誓約書(別紙2)
- ③. 在籍証明書
- ④. 英語または派遣国の公用語・母国語の語学力の証明書類：①証明書の写し、または②語学力を証明する成績表の写し
または推薦状(1通)
- ⑤. 自己PRシート

以下4点を含めた「自己PRシート(A4・1枚)」をご提出ください。レイアウトや画像の有無は自由です。

- 趣味・特技を含む自己紹介
- 自分がチーム内で発揮できる強み
- 現地でどのような交流をしたいか(何を学びたいか)
- 日本の何を紹介したいか

※在籍証明書の発行費用は、参加者の自己負担となりますのでご了承ください。

※ご提出いただいた各種書類は返却しません。当センターにて大切に保管します。

※各種提出書類はPDFまたはJPEGに加工し、応募フォームからアップロードしてください。

※ファイル名は『添付資料名_フルネーム』(例：語学証明書_国際 太郎)の形でアップロードしてください。

なお、応募時に提出された書類に不備がある場合や、募集締め切り後にお申し込みいただいた場合は、審査の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

V. 選考方法

書類選考、及び書類選考合格者を対象に面接選考を行います。

(1) 選考日程

選考	日程
応募書類締め切り	2026年6月11日(木) 17:00 ※締切厳守
書類選考(一次)結果通知	2026年6月19日(金) 目途
面接選考(オンライン実施)	2026年6月23日(火)～7月2日(木) 目途 ※変更の可能性があります。
面接選考(二次)結果通知	2026年7月3日(金) 予定

※面接日程の事前指定や変更は原則受付できません。

(2) 選考結果通知方法

選考結果については、本派遣事業に申し込みをした全ての応募者に対してメールにて通知します。

VI. 参加者の義務・遵守事項

参加者の皆様には、以下の事項についてあらかじめご理解・ご承知の上、プログラムにご参加いただきます。

(1) 自己都合による辞退について

原則、参加決定後の自己都合(体調不良含む)による辞退は認められません。やむを得ない理由により辞退となる場合は、出発日から起算して90日前より発生した費用(航空券・宿泊等の取消料)をご本人にご負担いただきます。

(2) 自己都合による行程変更等について

参加者の自己都合による途中合流、滞在期間の延長、途中帰国は原則として認められません。これにより発生する費用(航空券の変更、宿泊費等)や、第三者(航空会社、宿泊施設、レストラン等)の行動または過失、参加者自身の損害や所持品の紛失等について、JICEは一切の責任を負いかねます。

(3) 参加資格の不備・規定違反について

応募内容に虚偽があった場合、または参加決定後に応募資格を満たさない事実が判明した場合、提出物の期限を遵守いただけない場合、プログラム中の不適切な行動や重要な規定違反があった場合には、参加の取り消し、途中帰国の指示、または諸費用や違約金を請求させていただきます。

(4) プログラムの中止・変更について

プログラムの中止、変更については、外務省海外安全ホームページの危険情報を基に判断します。

(5) 旅程・宿泊等の変更について

現地事情や不可抗力(天候、治安、交通事情等)により、旅程や宿泊先の変更が生じる場合があります。

(6) 事前連絡義務について

派遣開始前に、連絡が取れない期間がある場合は、必ず事前に JICE 担当者へ緊急連絡先等をご連絡ください。

(7) 緊急時の対応及び所属先への連絡について

本プログラムは、在外公館等と連携の上治安状況を確認し実施しますが、万が一事故等が発生した場合には、所属機関(大学、大学院等)にも連絡します。あらかじめ所属機関へプログラムの参加をご報告ください。

(8) 損害・事故・医療対応に関する免責事項

プログラム期間中に発生した事故、病気、怪我等に関しては、JICEが適切な対応を行います。その結果生じた損害についてJICEは法的責任を負いかねます。必要な医療行為（応急処置を含む）についても同様です。

VII. 問い合わせ先

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 新宿第一生命ビルディング 16階

一般財団法人 日本国際協力センター（JICE） 国際交流部 青少年交流課

Japan-Africa Youth Program プログラム派遣担当（平日 9:30～12:30、13:30～17:30）

※短期派遣プログラムに関するお問い合わせは[こちらの](#)フォームよりお問い合わせください。

※選考内容に関するお問い合わせについてはお答えできかねますのでご了承ください。

※土日祝日にいただいたお問い合わせには翌営業日以降に対応いたします。